



地域福祉計画

概要版

久慈市



地域福祉活動計画

概要版

久慈市社会福祉協議会



第 2 期計画の基本理念

久慈市総合計画（平成28年度～平成37年度）

【基本理念】子どもに誇れる 笑顔日本一のまち 久慈

地域福祉計画

〈久慈市〉

高齢者福祉計画

久慈広域連合介護保険事業計画

障がい者プラン・障がい福祉計画

子ども・子育て支援事業計画

健康くじ21プラン

男女共同参画計画

その他の関係計画

地域住民・関係団体及び行政が一体となって実施する地域福祉について、推進に関する理念や基本方針を定め、連携する体制を作ることで、より効果的な地域福祉活動と推進するための目標となる計画

【基本理念】 共に支え、元気と安らぎあふれるまちづくり

【基本方針】

- 支えあい・助けあいの仕組みが整ってるまち
- 福祉を支える人があふれまち
- 福祉のつながり広がるまち

【計画期間】 平成28年度(2016年)～平成37年度(2025年)

※平成32年度(2020年度)に中間見直しを行う。

地域福祉活動計画 〈久慈市社会福祉協議会〉

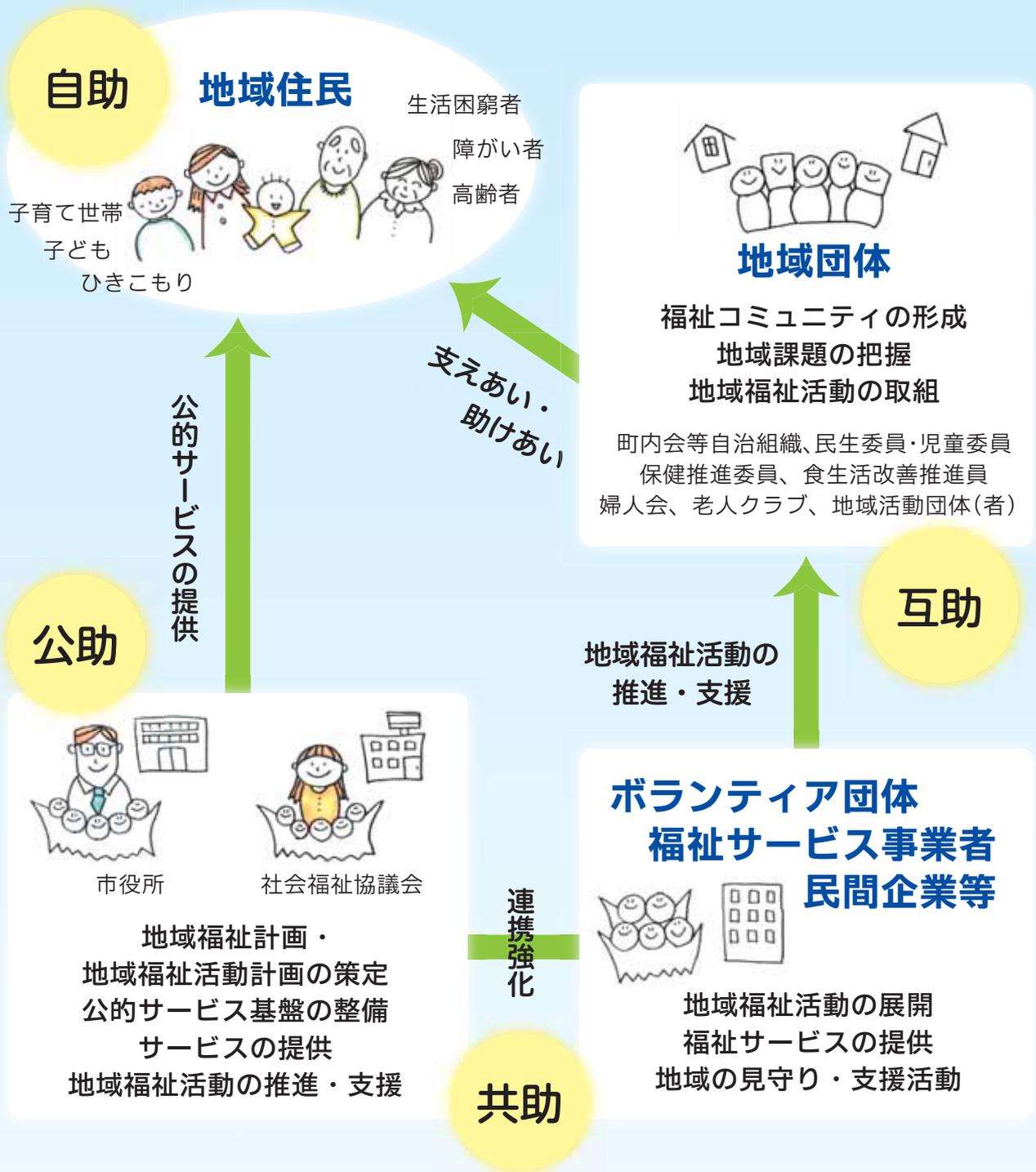
地域住民や団体が主体的に取り組むための具体的な内容を定める計画

【基本理念】 共に支え、元気と安らぎあふれるまちづくり

【基本方針】

- 進んで参加し、共に支えあう福祉のまちづくり
- 地域の結び付きを深め、近隣同士が集まるまちづくり
- 垣根を超えて相談・支援ができるまちづくり

推進体制



4つの助けあい

自助	互助	共助	公助
住民一人ひとりが取り組むこと	地域やボランティアが取り組むこと	社会制度として取り組むこと	自助・互助・共助では対応できない状況に取り組むこと
<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり 避難準備 	<ul style="list-style-type: none"> 見守り、声かけ ゴミ出し、除雪等 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険 医療保険 	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護 権利擁護、虐待対応等

3つの基本方針



第1期地域福祉計画で推進している基本方針の方向性を継承しながら「仕組みづくり」「人づくり」「つながりづくり」の3つの柱により一層の地域福祉の醸成を推進します。



基本方針1



支えあい・助けあいの仕組みが 整っているまち



少子高齢化や生活環境の変化に伴い、高齢者や子育て世帯、生活に困窮している人や社会的に孤立している人など、地域で支援を必要とする人の福祉課題は複雑化・多様化・複合化している中で、解決には多様な支援体制の構築が必要となっています。

また、公的な福祉サービスだけでなく、地域福祉活動に携わっている地域住民やボランティア等による、日常的な支援や活動が重要となっています。そのために、それぞれの団体等が役割を果たす一方で、連携して取り組める「仕組みづくり」を推進します。

基本目標

- 地域福祉活動の参加促進と地域の福祉課題の解決に努めます。
- 多世代が憩う地域交流活動や健康づくり活動を推進します。
- 災害に備えた助けあいの仕組みづくりを推進します。
- 日常の見守り・声かけ活動を通じた孤立防止に努めます。
- 支援が必要な住民に合わせた支援体制を形成します。
- 子どもや子育て世帯が、暮らしやすく安心できる地域を目指します。
- ボランティアや企業と連携して福祉活動を推進します。

基本方針2

福祉を支える人があふれるまち

地域の福祉活動の推進に向け、市民一人ひとりが地域や福祉活動に関心を持ち、主体的な活動への参加に繋がるよう、困った時には、お互いに助けあい、支えあうことの重要性について意識の統一を図ることが大切です。

また、幼い頃から思いやりのこころを育むための福祉教育に取り組み、世代を超えた交流や身近な地域での繋がりを絶やさず、助けあいや支えあいができるまちづくりが求められています。

地域の各種組織やボランティア団体などが協力し、活動内容の見直しや支援策の検証などを行って、さらなる地域活動の活性化を目指すための「人づくり」を推進します。



基本目標

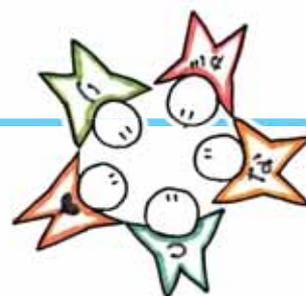
- 地域の福祉活動に積極的に参加する人を増やす取組を推進します。
- 次世代のリーダーや地域福祉をコーディネートできる人を育成します。
- 次世代を担う子どもの福祉のこころを醸成します。

基本方針3

福祉のつながりが広がるまち

地域の福祉課題の解決に向けて、関係する部署や団体が持っているノウハウや知識を組み合わせ、連携して取り組んでいく必要があります。そのために、日ごろから、部署を超えて情報を提供しやすい関係づくりや迅速に対応できる連携づくりが必要となります。

また、行政の情報を地域住民が入手しやすく、地域の情報を行政が得られやすくなるよう、団体や人、情報などの「つながりづくり」を推進します。



基本目標

- 制度や部署を超えたチームアプローチと連携体制を整え支援につなげます。
- 情報をわかりやすく周知し、必要としている人へ届きやすい体制を整えます。
- 地域で福祉活動を行う民生委員・児童委員等が相互に連携する体制を整えます。

地域福祉活動計画 概要

久慈市社会福祉協議会では、久慈市地域福祉計画に沿って、地域福祉活動計画を策定し、地域の福祉課題の解決に向け、次の取組を進めます。

○ 地域座談会の開催

地域の福祉課題は、地域が主体となって解決に取り組むことができるよう地域座談会を開催します。

○ ふれあいサロン実施への支援

事業の立ち上げや実施内容について助言や指導等のほか、地域の生活課題の把握・発見や福祉サービスの情報提供を行います。

○ 組織連携による相談・支援体制の連携

複合的な課題にも対応できるよう、各種相談支援機関の横断的な連携を強化するために連携づくり会議を開催し、支援が必要な人に相談・支援が届くよう、体制整備を促進します。

○ 生活あんしん相談室・あんしんねっとの相談窓口の運営

各種相談窓口と連携し、相互に情報の共有を図り、相談者の課題に適切・確実に対応します。

○ ボランティア意識の醸成と参加促進

地域と連携を図り、福祉学習の場の提供やボランティア活動を広く紹介し、住民のボランティア参加意識の醸成と参加を促進します。

○ ボランティア活動リーダー育成

地域座談会、ふれあいサロン事業、あんしんサポート事業を通じて、小地域ボランティア活動のリーダーの掘り起こしとリーダーの育成を図ります。

○ 子どもを主体としたボランティア活動の実践

地域、学校、ボランティア団体、事業者と連携し、子ども達が主体となるボランティア活動や交流・体験活動の場を提供し、次代を担う子ども達の「福祉のこころ」を育みます。

○ 相談窓口の連携

制度内の福祉サービスでは対応しにくい新たな福祉課題や生活課題に適切で迅速な対応ができるよう、各相談窓口が情報を共有し、課題に応じた支援が受けられるよう連携を強化します。

○ 地域・関係機関等との情報共有と支援体制の強化

住民の地域福祉活動で発見された生活課題の共有化、社会資源の調整や新たな活動の開発など、地域福祉活動を促進します。住民参画と住民主体による生活支援の仕組みづくりを推進することで、見守り体制の充実・強化と地域との連携を図ります。

地域の取組

幸町町内会（小久慈地区）

自主防災組織の発足や災害時要援護者に関する支援体制を整え、住民の防災意識を高めています。操作の難しい発電機を操作できる人を事前登録しておくなど、町内に住む人の得意分野を生かした取り組みを進めています。

防災意識が地域活動の協力体制にも生かされ、企業や保育園も協力した多角的な地域活動も行われています。

関自治会（山形地区）

自治会を中心に地域の活動団体の連携が構築されており、民生委員・児童委員のみでは限界があった訪問活動を、地域が一体となって取り組んでいます。

自治会や商店、学校など、地域の資源を有効に活用し日常的な繋がりを大切にして活動しています。

「やってみてから足りない分を考える」という考えを持つことで、積極的な活動に繋がっています。

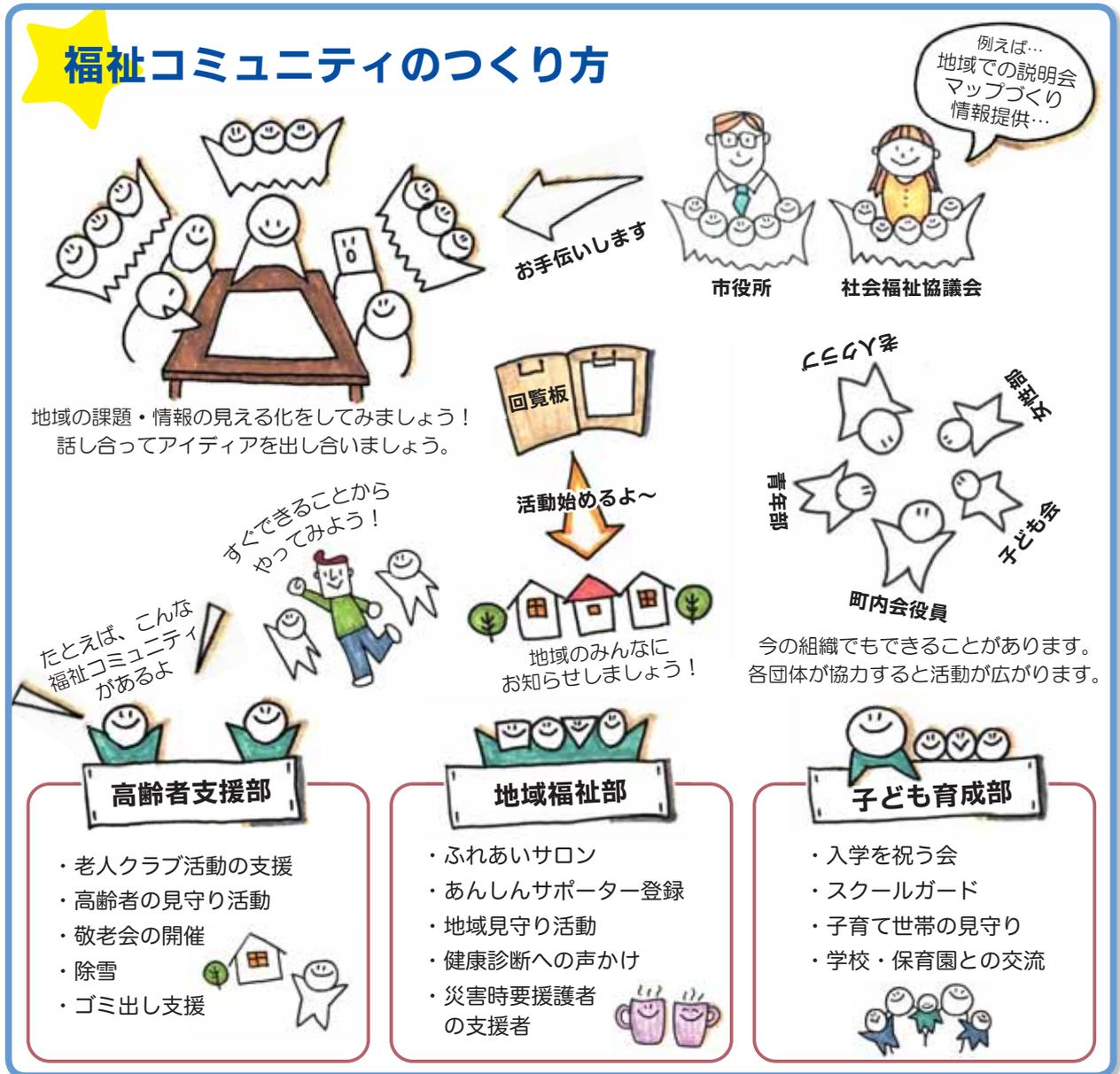
地域福祉活動に取り組もう!!



地域福祉計画及び地域福祉活動計画に掲載されている内容について、地域で具体的な活動にどのように結び付けたらよいかについて説明しています。

これらの例を参考にして、お住まいの地域に合った地域福祉活動を取り組みましょう!!

福祉コミュニティのつくり方



お茶飲み会 (河南(川貫)地区)

地域の子どもや保護者に声をかけ、畑を借りて野菜を育て、収穫祭を開催しています。

子どもから高齢者までの多世代が交流することで、さらに地域の連携が生まれ、サロンから発信するイベントとして、地域を盛り上げていきたいと考えて活動しています。

横沼たんぽぽ会 (侍浜地区)

サロンに参加できない(しない)人にも作った料理を配り、声かけを行うことで次の機会に参加しやすいよう工夫しています。

年に1度の「感謝祭」を通して、祖父母世代、父母世代、孫世代と一緒に活動することで、顔なじみの関係づくりや担い手の育成、子育て等を地域全体で支援する気運の高まりを期待しています。

みんなが集まるふれあいサロンにしましょう



料理づくりやスポーツを通じて多世代と交流しましょう。
みんなで集まって顔なじみの関係になりましょう！

自分のできることを
お手伝いしよう。

支援が必要な人も参加できる
サロンにしよう！



サロンに集まる楽しさを、地域の人々と共有しましょう。



地域みんながサロンの仲間です。
声かけで仲間を増やしましょう。

災害時要援護者の支援をしましょう



避難に不安がある人は台帳に登録しましょう！
登録を希望する人の手続きをお手伝いしましょう。

災害時の安否確認
にも活用するよ



台帳の情報を市と町内会等で共有しましょう。

支援者はだれ？ 避難場所はどこ？



台帳情報を利用して話し合いをしてみましょう。
支援の方法を考えてみましょう。

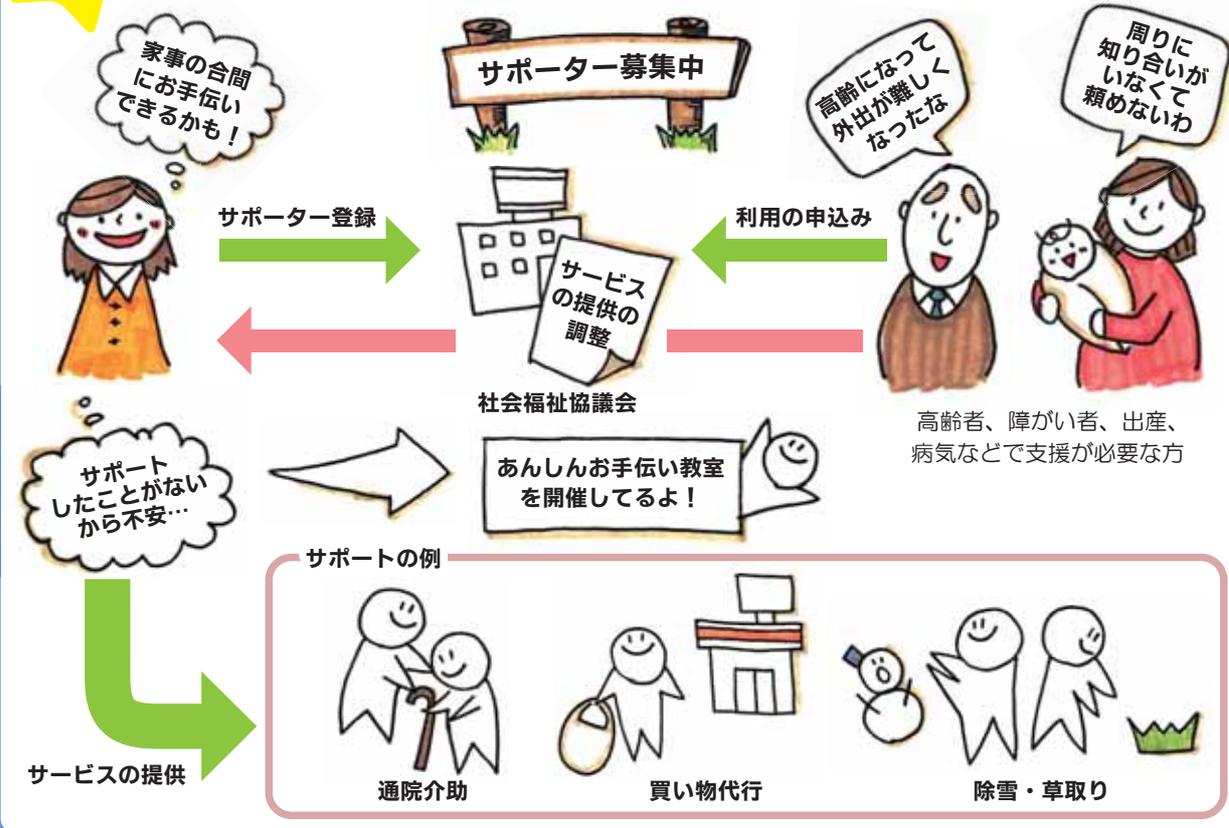


名簿を活用して安否確認を行いましょう。



台帳情報を利用して話し合いをしてみましょう。
支援の方法を考えてみましょう。

地域を支えるあんしんサポーターになろう！



子どもたちが福祉を学べる機会を増やそう



みんなが考える地域福祉活動

地域で「今できること」「やったほうがよいこと」
～地域福祉ワークショップ・ふるさと点検の発言より～

地域福祉活動の活性化 地域の担い手の育成

- 幅広い年代の人が町内会の役員を担っています。
- 参加している人が楽しいと思える活動にしたいな。
- 活動に参加した人が、役割分担しながら進めていきたいです。
- 学生の頃から参加していた地域行事には、大人になってからも手伝ってくれます。
- 子どもたちの笑い声が聞こえる町になって欲しい

地域福祉ワークショップ 地域の支えあい・助けあいや、公的サービスの充実により地域福祉の向上を図るため、地域住民と具体的な地域の取組や課題を共有し、どのように解決していくかを地域で話し合う場として実施しました。<参加者218名>

ふるさと点検 大川目町、山根町、山形町を対象に、「これからも住み続けたいまち・戻ってきたいと思うまちづくり」のための地域活動を推進するため、「地域の現状や課題」「目指す将来像」を地域と行政が共有するための話し合いの場として実施しました。<参加者266名>

子どもや若い人の地域活動 多世代の交流活動

- 若い人たちの声を、地域で聞く場があればいいな。
- 住民のお祝い事（入学等）を地域でお祝いしています。
- どの世代も興味をもてるような活動をしていきたいです。
- 学校行事が、地域住民と子どもを繋ぐ役割をしています。
- 子ども会と一緒に高齢者宅の訪問活動をしています。

ふれあいサロン活動

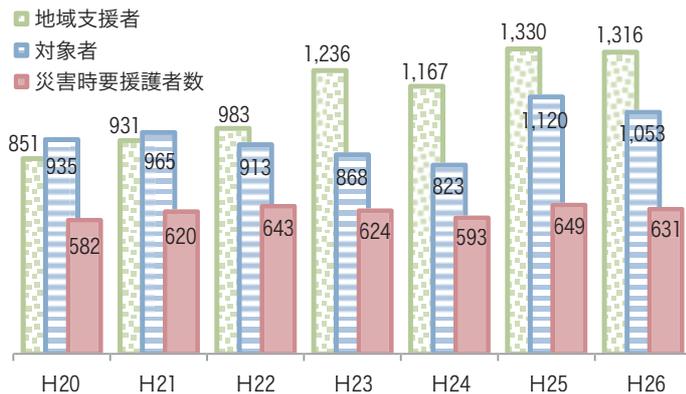
- 支援が必要な人が参加できるサロンを作りたいです。
- 地域の高齢者みんなが元気になれるよう老人クラブとサロンが協力して活動したいな。
- サロンに参加できない人にも様子を伝えることで、次に参加しやすい繋がりを作っています。

支えあい体制づくり説明会

地域での支えあい活動を促進させるために市や社会福祉協議会が推進している事業を「多くの市民の皆さんに知ってもらうこと」、町内会等で「支えあい活動についての話し合いの場を作っていただくよう働きかけること」を目的に開催しました。

開催年度	参加者数
平成22年度	169名
平成24年度	204名
平成26年度	274名

災害時要援護者支援事業の実績



災害時要援護者支援事業

防災活動や日常の見守り活動を地域と連携して行うため、災害時要援護者名簿への要支援者の登録を進め、自助、共助の取り組みを強化しています。

また、関係機関等と名簿を共有することで見守り活動を推進し、避難誘導等に利用できる体制を整えるほか、申し出のあった町内会等と協定を締結し、名簿を共有することで地域の防災力の強化に努めます。

健康づくり・生きがいくり活動

- 地域毎にウォーキングコースを作って、地域で運動する機会を作りたいです。
- みんなで体操を始めて、介護を受ける人を減らしたいな。
- 食文化や減塩料理を子どもから高齢者までみんなで考える機会が欲しいです。
- 地域の福祉施設の清掃活動を、地域の高齢者が協力して取り組んでいます。
- 高齢者が得意な分野を生かすことができる場を作りたいな。

活動場所の確保・情報の共有

- 地域の空き家を地域福祉活動に活用したい。
- 町内会の活動や役員を、知ってもらえるよう周知活動をしたい。
- 地域の情報を住民が共有できる仕組みづくりが必要です。
- 地域の集まりに行政も参加してもらい、やれることを分担してみたい。

高齢者の見守り・支援活動

- 町内会に福祉部を作ってみんなで見守り活動しています。
- 元気な時から声かけができる繋がりづくりが大切です。
- 敬老会やサロンに参加しない人にもお弁当届けています。
- 広報の手渡しやゴミ出しのお手伝いが繋がりづくりのきっかけになりました。
- 支えあいマップづくりに取り組んで、地域の情報を整理したいな。

防災・防犯・環境づくり

- 中学生が地域の除雪や清掃活動をしてくれています。
- 子どもや災害弱者の避難ルートをマップ化したいです。
- 防災無線の情報を共有し合える関係づくりがあればいいな。
- 子どもや若い世代にも防災訓練に加わってほしいです。
- 地域の人や企業が、除雪を手伝ってくれています。

第1期計画で取り組んできたこと

あんしんサポート事業

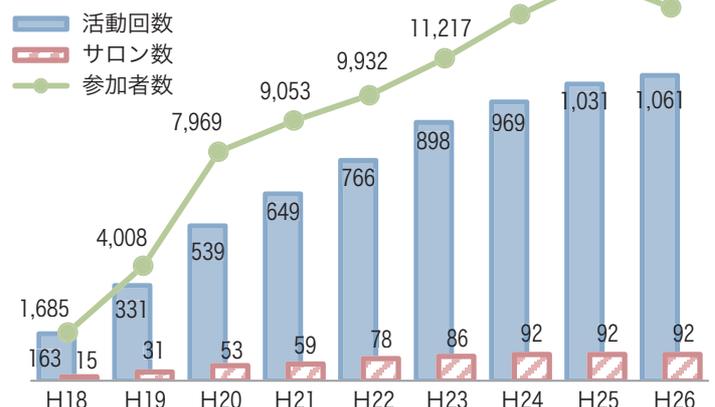
高齢や障がいなどで日常の家事に困っている方や介助が必要な方、病気や怪我、出産などで一時的に手助けが必要な方（利用会員）を1時間500円で有償ボランティア（協力会員）がお手伝いする事業を推進しています。

ふれあいサロン事業

高齢者の仲間づくりや閉じこもり予防を目的に、生きがいを持ちながら社会参加が図られるよう、交流の場を設け、体操や創作活動等を行っています。サロン活動は、地域住民やボランティアが、地域の高齢者に呼びかけ、市と社会福祉協議会が活動費の一部を支援して運営しています。

社会福祉協議会では、サロンのボランティア等を集め、情報交換や交流するための「サロンの集い」を開催しています。

ふれあいサロン事業の実績



計画の体系

久慈市地域福祉計画			久慈市地域福祉活動計画
基本方針	基本施策	重点項目	取組項目
1 支えあい・助けあいの仕組みが整っているまち	1 地域主体による活動の仕組みづくり	(1) 地域団体や住民の主体的な活動への支援 (2) 地域における福祉課題への支援 (3) 多世代を対象とした地域福祉活動の推進	・地域座談会の開催 ・地域支えあい研修会の開催 ・ボランティア団体等との連携強化 ・ふれあいサロン実施への支援
	2 お互いが支えあい、助けあう仕組みづくり	(1) 地域での支えあい活動の推進 (2) 災害時における助けあい	・住民支えあいマップの推進 ・災害時ボランティア体制の連携強化
	3 支援が必要な人に適切な支援を届ける仕組み	(1) 高齢者への支援の充実 (2) 生活困窮者の自立支援策の展開 (3) 社会的孤立への対策 (4) 権利擁護の推進 (5) 子育て世帯への支援の充実	・組織連携による相談・支援体制の強化 ・生活あんしん相談室・あんしんねっとの相談窓口運営強化 ・法人後見の体制づくり ・子育て世帯への支援の推進
	4 住民や企業が協働で活動する仕組みづくり	(1) 社会福祉法人の社会貢献活動の支援 (2) NPOや企業の地域活動の促進・支援 (3) 活動財源の確保 (4) 福祉の視点による環境の整備	・社会福祉法人・NPO 法人との連携強化 ・事業者の社会貢献活動への支援 ・各種助成金の利用促進 ・共同募金運動の促進
2 あふれるまちを支える人が	1 地域福祉を担う人材の育成	(1) 地域の福祉活動に参加する人の育成 (2) 活動を担うリーダーやコーディネーターの育成	・ボランティア意識の醸成と参加促進 ・ボランティア活動リーダー育成 ・久慈市民生児童委員協議会との連携
	2 福祉意識の醸成	(1) 地域に根ざした福祉の学び (2) 次代を担う子どもの育成	・学校やボランティア団体と連携した福祉教育の推進 ・福祉講演会等の開催 ・子どもを主体としたボランティア活動の実践
3 る福祉のつながりが広がるまち	1 地域トータルケアシステムの充実	(1) 制度領域を超えた相談支援体制の一元化 (2) ケアマネジメント機能の充実 (3) 地域での支援体制の充実	・相談窓口の連携強化 ・地域・関係機関等との情報共有と支援体制の強化
	2 総合的な福祉サービス情報の提供	(1) 総合的な福祉サービス情報提供の充実 (2) 苦情解決制度の利用促進	・情報提供の強化 ・福祉サービス苦情解決事業の推進及び第三者委員の設置

本書に掲載の活動についての問い合わせ先



(福祉コミュニティ・災害時要援護者支援など)
久慈市福祉事務所社会福祉課

〒028-8030 久慈市川崎町1番1号
TEL 0194-52-2111 (代表)
FAX 0194-52-2364



(ふれあいサロン・あんしんサポーター・福祉教育出前講座など)
久慈市社会福祉協議会

〒028-0014 久慈市旭町第7地割127番地3
TEL 0194-53-3380 (代表)
FAX 0194-52-7715